



## 平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーピーエス株式会社

コード番号 4282 URL <http://www.eps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7797

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	26,723	4.3	1,791	△51.2	1,611	△55.1	390	△76.3
24年9月期第3四半期	25,629	10.4	3,673	18.7	3,590	16.1	1,649	32.8

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 1,546百万円 (△25.8%) 24年9月期第3四半期 2,084百万円 (44.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	1,091.10	—
24年9月期第3四半期	4,612.33	—

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年9月期第3四半期	26,469		18,818		62.0
24年9月期	26,647		18,436		58.6

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 16,409百万円 24年9月期 15,608百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	1,600.00	—	1,900.00	3,500.00
25年9月期	—	1,600.00	—		
25年9月期(予想)				1,000.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株を2株に分割したことに伴い、平成25年9月期(予想)の1株当たりの予想配当金は、2,000円から2分の1の1,000円となっておりますが、当初の分割前の1株当たり配当金予想合計は変更していません。

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,834	7.5	3,496	△32.4	3,396	△33.3	1,270	△42.5	3,550.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 1株当たり当期純利益の金額は、平成25年4月1日付における株式分割を考慮して算出しています。

2. 詳細については、平成25年8月1日付けで公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	361,600 株	24年9月期	180,800 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	3,948 株	24年9月期	1,974 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	357,652 株	24年9月期3Q	178,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 生産実績	14
(2) 受注実績	14
(3) 販売実績	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（2012年10月1日から2013年6月30日）におけるわが国経済は、アベノミクスの期待感による急激な円安、株高の調整、7月の参議院選挙など一進一退といった状況となっています。こうした中で当社及びグループ会社を取り巻く環境は、顧客である製薬会社及び医療機器製造販売会社のニーズの多様化、高度化が進んでいます。

当第3四半期の連結業績においては、売上高でみると、前年同期比 4.3 %の増収となりましたが、利益面においては、営業利益は、前年同期比 51.2 %の大幅な減益となりました。当社では2013年4月26日に業績予想を修正しており、これに対して、売上高は概ね計画通りでしたが、営業利益では80%の達成率となりました。

事業セグメント別内訳は次の通りです。

#### 【国内事業】

国内CRO関連事業は、当社を中心に事業を展開しています。国内CRO関連事業における連結売上高は、前年同期と比較して 66 百万円減の 16,140 百万円（同 0.4 %減）、連結営業利益は、1,076 百万円減の 1,987 百万円（同 35.1 %減）の減収減益となりました。主な要因は、売上面では、当社のデータマネジメント業務での大型案件終了に伴い、運用フェーズから立上げフェーズに移行したため、売上高が減少したことによるものです。モニタリング業務は、売上高においては、若干のプロジェクト遅延があるものの、概ね計画通りに推移しました。また、臨床研究、医療機器関連分野は、順調に推移しています。しかしながら、利益面では、人材採用や山梨事業所の開設等の先行投資的費用が嵩んだことから利益が押し下げられました。

国内SMO関連事業は、株式会社イーピーミントで事業を展開しています。国内SMO関連事業における連結売上高は、前年同期と比較して 135 百万円減の 4,216 百万円（同 3.1 %減）となりました。利益面では、第2四半期累計期間に今後の開発動向、新規案件の受注に備え前倒しで増員したことから、売上原価が大幅に増加し、連結営業利益は、332 百万円減の 177 百万円（同 65.2 %減）の大幅な減益となりましたが、第2四半期と比べ、第3四半期は順調に回復し、新規案件の取り込み強化、経費削減等の効果により減益幅は改善しました。修正予想に対しては、売上高は概ね計画通り、営業利益は超過達成しました。

国内CSO関連事業は、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインにおいて展開しています。国内CSO関連事業は、売上面では、前年同期と比較して 268 百万円減の 4,218 百万円（同 6.0 %減）となり、利益面では、MR派遣業務において、競争の激化により案件獲得が想定通り進まず、派遣MRの稼働率が低下しました。また、営業利益は 495 百万円減の 13 百万円（同 97.3 %減）で大幅な減益となりました。一方、ドラッグ・インフォメーション業務や医薬・医療・ヘルスケア業界向けBPO業務が順調に伸張し、第3四半期は順調に回復し、修正予想に対し、売上・利益共に会社計画通りの業績です。

#### 【海外事業】

Global Research 関連事業は、当社のグローバルリサーチ部門と臨床試験に関わる海外グループ会社で構成されています。Global Research 関連事業の連結売上高は、前年同期と比較して 360 百万円増の 1,160 百万円（同 45.0 %増）の増収となりました。連結営業損益は、円安の進行による円ベースでの海外拠点経費増により△73 百万円（同 36 百万円の損失）となりました。

中国関連事業は、当社の中国事業部門と益新（中国）有限公司グループで構成されています。中国関連事業の連結売上高は、前年同期と比較して 1,509 百万円増の 1,687 百万円（同 848.4 %増）の大幅な増収

となり、連結営業損失は、317 百万円（同 380 百万円の損失）と縮小しました。売上増加の主な要因は、2013年1月にグループ会社化した益通（蘇州）医療技術有限公司において医療機器販売が好調に推移したことによるものです。

以上の結果、EPSグループ全体の連結売上高は、前年同期と比較して 1,093 百万円増の 26,723 百万円（同 4.3 %増）となりました。一方、連結営業利益は、1,881 百万円減の 1,791 百万円（同 51.2 %減）となり、連結経常利益は、1,978 百万円減の 1,611 百万円（同 55.1 %減）、連結四半期純利益は、1,259 百万円減の 390 百万円（同 76.3 %減）となりました。修正予想に対する達成率は、売上高97.7%、営業利益80.1%、経常利益76.1%、当期純利益では45.7%となっております。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末における総資産は、26,469 百万円と前連結会計年度末から 177 百万円減少しました。

流動資産では、主に現金及び預金が 1,809 百万円、受取手形及び売掛金が 1,266 百万円それぞれ減少した一方で、有価証券が 306 百万円、商品及び製品が 418 百万円、仕掛品が 306 百万円それぞれ増加したことなどにより 1,938 百万円減少して 18,604 百万円となりました。固定資産では、主として有形固定資産が 644 百万円、のれんが 502 百万円、投資有価証券が 713 百万円それぞれ増加したことなどにより 1,761 百万円増加して 7,865 百万円となりました。

負債の部においては、主に未払法人税等が 1,404 百万円、賞与引当金が 785 百万円それぞれ減少した一方で、短期借入金が 1,215 百万円、その他の流動負債が 388 百万円増加したことなどにより、当四半期末における負債合計は 7,650 百万円と 560 百万円減少しました。

純資産の部では、主に為替換算調整勘定が 1,022 百万円増加した一方、利益剰余金が 235 百万円、少数株主持分が 419 百万円それぞれ減少したことなどにより、当四半期末における純資産の部は 382 百万円増加して 18,818 百万円となりました。

キャッシュ・フロー状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が 1,301 百万円となり、売上債権の減少が 1,334 百万円あった一方で、賞与引当金の減少が 795 百万円、法人税等の支払による支出が 2,081 百万円それぞれあったことなどにより 21 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比 2,764 百万円減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に投資有価証券の取得による支出が 992 百万円、有形固定資産の所得による支出を 368 百万円、新規連結子会社の取得や子会社株式の追加取得による支出を 1,167 百万円行ったことなどの結果、2,445 百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比 1,204 百万円増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期借入金の実行で 3,500 百万円の収入があった一方で、長期及び短期借入金の返済を 2,385 百万円、株主及び少数株主に対する配当金の支払を 672 百万円行ったことなどにより、426 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は 1,070 百万円の支出）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は 9,156 百万円（前年同四半期連結累計期間比 29 百万円減少）となりました。

なお、連結キャッシュ・フロー関連の主要な数値は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,786,108	21,927
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,240,996	△2,445,627
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,070,756	426,368
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	83,842	490,046
V. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	558,197	△1,507,285
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	8,627,744	10,663,816
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,185,941	9,156,531
減価償却費	225,404	278,487
のれんの償却額	140,788	172,011

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期通期の売上高は、前年同期と比較して7.5%増収となる見込みです。一方、利益面では、営業利益、経常利益共に前年同期を下回る見込みです。営業利益、経常利益の修正は、人材採用や新規事業所設立等による先行投資的費用が増加したことや、中国事業で円安により為替評価損が発生したこと（為替換算調整勘定は増加）によるものです。当期純利益においては、有価証券保有にかかる特別損失の発生等により、前年同期を下回る見込みです。これらにより平成25年9月期通期の連結業績見通しは、2013年4月26日に発表した予想数値を変更します。

事業セグメント別には次の通りです。

## 【国内事業】

国内CRO関連事業は、当社において、データマネジメント業務での新規受注に注力するとともに、立ち上げフェーズの強化・効率化を推進し、今後の収益力の改善に取り組んでいく予定です。データマネジメント業務では、業務の効率化・価格競争力強化を狙いとして山梨にサテライトオフィスを設立し、顧客サービスの充実を図っております（2013年5月1日発表）。また、モニタリング業務においては、CRAリソース管理強化により受託体制整備を図り、新規案件獲得に注力します。なお、順調に伸長している臨床研究、医療機器関連分野については更に強化を図ることにより、今後の収益力に貢献する見通しです。

国内SMO関連事業および国内CSO関連事業は、第2四半期に不振となりましたが、新規案件の取り込み、経費削減により、業績回復を図っており、第3四半期は修正予想をほぼ達成しております。

なお、国内CSO二社は、2013年5月1日に発表した通り、2013年10月1日に合併を予定しており、規模拡大、両社の強みや特徴を生かしたサービスを拡充します。

国内3事業においては、受託体制強化によるリソース増強を図る一方、人員（リソース）の流動化を進めていきます。また、組織運営体制や労務費・経費の削減等は共通の経営課題であり、引き続きコントロール力を強化していきます。

## 【海外事業】

Global Research 関連事業は、将来需要の増加が見込まれるアジアパシフィックを中心としたグローバル臨床試験の受託増加を目論み、その一環として、アジア10カ国でCRO事業を展開するGleneagles CRC Pte. Ltdを買収しました。今後アジア地域での体制を強化し、業容の拡大を図ります。

中国関連事業に関しては、2008年に益新(中国)有限公司を中国ビジネスの統括会社として設立以来、ビジネスの展開を図ってきました。

CRO事業に加え、日中間のヘルスケア分野における専門商社的機能としてのビジネスコンセプトを固めましたので、これに基づき事業を再編し、既存のビジネスの強化と多様なビジネスチャンスに対応していきます。

中国においては、次の4つの事業を収益の柱として展開していきます。

- ① 中国でのCRO
- ② 医薬品の研究・開発・販売
- ③ 医療機器の製造販売
- ④ BPOビジネス

中国でのCROは、Global Research事業として展開していますが、2011年9月益新国際医薬科技有限公司を中核会社として、上海のデータマネジメントの拠点に加え、モニタリングの拠点を拡大しています。

医薬品事業においては、創薬事業とジェネリック事業を展開しています。創薬事業では、従来GNIG社と

の合弁事業を中国天津市で進めていましたが、それをさらに発展する形で、2013年8月に香港に新会社をGNIG社と設立することで、創薬事業のプラットフォームを強化し、シーズの充実化と新薬開発体制の加速化を図ります。ジェネリック事業は、中国の有力ジェネリックメーカーである常州市第四製薬場有限公司と常州市に2012年6月に合弁会社を設立し展開しています。

医療機器事業においては、年初に連結グループ会社とした益通(蘇州)医療技術有限公司を通じた医療機器販売事業を展開し、実績を上げてきていますが、一層の品揃えと販売強化を進めていきます。加えて、益通(南通)医療設備有限公司を2013年8月に設立することにより、日系医療機器メーカーのOEM製造を手掛け、X線機器の自社ブランドも計画しています。これにより、医療機器の製造から販売まで、一層の事業拡大を図っていきます。

また、BPOビジネスでは、2011年10月に、有力BPO会社である株式会社InfoDeliverと合弁会社を設立し事業展開しています。

イーピーエスグループとして、中国事業を新たな収益の柱として一層の業容拡大を図っていきます。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,576,625	8,767,111
受取手形及び売掛金	7,320,867	6,054,207
有価証券	100,016	406,689
商品及び製品	415,319	833,491
仕掛品	506,388	813,325
その他	1,628,172	1,734,633
貸倒引当金	△4,050	△5,108
流動資産合計	20,543,338	18,604,350
固定資産		
有形固定資産	1,881,401	2,526,071
無形固定資産		
のれん	479,484	982,396
その他	334,763	414,033
無形固定資産合計	814,248	1,396,430
投資その他の資産		
投資有価証券	587,383	1,301,226
敷金及び保証金	1,287,155	1,542,656
その他	1,533,884	1,098,824
投資その他の資産合計	3,408,423	3,942,707
固定資産合計	6,104,074	7,865,209
資産合計	26,647,412	26,469,560
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	252,027	349,452
短期借入金	15,000	1,230,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,455,156	50,849
賞与引当金	1,094,398	309,138
受注損失引当金	108,000	47,000
その他	3,292,666	3,681,409
流動負債合計	6,317,248	5,767,849
固定負債		
長期借入金	800,000	700,000
退職給付引当金	515,997	614,783
役員退職慰労引当金	241,664	271,147
資産除去債務	274,805	259,189
その他	61,355	37,796
固定負債合計	1,893,822	1,882,916
負債合計	8,211,071	7,650,766

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,251	1,875,251
資本剰余金	1,826,300	1,826,300
利益剰余金	12,401,651	12,165,993
自己株式	△317,258	△317,258
株主資本合計	15,785,945	15,550,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57,555	△43,239
為替換算調整勘定	△120,366	902,467
その他の包括利益累計額合計	△177,921	859,227
少数株主持分	2,828,317	2,409,279
純資産合計	18,436,341	18,818,794
負債純資産合計	26,647,412	26,469,560

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	25,629,863	26,723,103
売上原価	17,047,540	19,902,253
売上総利益	8,582,322	6,820,850
販売費及び一般管理費	4,909,103	5,029,061
営業利益	3,673,218	1,791,788
営業外収益		
受取利息	8,082	14,038
保険解約益	18,944	24,628
その他	30,156	68,438
営業外収益合計	57,183	107,106
営業外費用		
支払利息	18,660	16,377
為替差損	98,917	207,376
その他	22,817	63,731
営業外費用合計	140,395	287,485
経常利益	3,590,006	1,611,409
特別利益		
投資有価証券売却益	6,171	50,996
補助金収入	63,250	—
特別利益合計	69,421	50,996
特別損失		
投資有価証券評価損	31,054	282,543
システム開発中止に伴う損失	61,413	—
事業構造改革費用	—	78,310
特別損失合計	92,467	360,854
税金等調整前四半期純利益	3,566,961	1,301,552
法人税、住民税及び事業税	1,195,991	475,741
法人税等調整額	479,218	448,469
法人税等合計	1,675,209	924,211
少数株主損益調整前四半期純利益	1,891,751	377,340
少数株主利益又は少数株主損失(△)	242,142	△12,891
四半期純利益	1,649,608	390,232

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,891,751	377,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,276	14,315
為替換算調整勘定	151,437	1,144,377
持分法適用会社に対する持分相当額	3,619	10,251
その他の包括利益合計	192,333	1,168,944
四半期包括利益	2,084,085	1,546,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,819,364	1,427,382
少数株主に係る四半期包括利益	264,721	118,903

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	国内CRO 関連事業 (千円)	国内SMO 関連事業 (千円)	国内CSO 関連事業 (千円)	Global Research 関連事業 (千円)	中国関連 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	16,039,233	4,351,488	4,461,128	737,526	40,486	25,629,863	—	25,629,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167,536	—	26,185	63,129	137,456	394,308	(394,308)	—
計	16,206,769	4,351,488	4,487,313	800,656	177,943	26,024,172	(394,308)	25,629,863
セグメント利益	3,064,376	510,479	508,699	(36,351)	(380,327)	3,666,876	6,342	3,673,218

(注) セグメント利益の調整額 6,342 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	国内CRO 関連事業 (千円)	国内SMO 関連事業 (千円)	国内CSO 関連事業 (千円)	Global Research 関連事業 (千円)	中国関連 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への売上高	15,714,843	4,213,364	4,172,100	1,085,753	1,537,041	26,723,103		26,723,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	425,246	3,069	46,570	75,162	150,642	700,690	(700,690)	—
計	16,140,090	4,216,434	4,218,670	1,160,915	1,687,683	27,423,794	(700,690)	26,723,103
セグメント利益	1,987,504	177,596	13,630	(73,708)	(317,203)	1,787,820	3,968	1,791,788

(注) セグメント利益の調整額 3,968 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

近年、製薬会社のグローバル開発に対応するため、アジアの治験実施体制を強化するとともに、欧米各国での治験実施可能な体制へと一体的に推進していくことを目指して、当社内に Global Research Company部門を設立しています。また、中国での事業基盤を確立することを主眼において、本部機能を強化し、中国国内での医薬事業、ヘルスケア事業及びBPO(Business Process Outsourcing)事業をそれぞれ効率的に進めることを目的として、当社内に中国事業部門を設立しました。

一方、IT関連事業においては、EDC(Electronic Data Capturing)を中心とした医薬・医療系IT事業に特化しており、国内CRO関連事業と密接な連携関係を保ちつつ、多様化したサービスを提供しています。

このような業容が拡大、変化していく環境の中で、業容に見合った管理体制を構築する目的から、当社グループ内での資本構成等事業再編を行い、「Global Research関連事業」・「中国関連事業」の独立した定期的な業績を集計する体制を整えました。

そのため、第1四半期連結会計期間より、従来の「CRO関連事業」に含まれていた「Global Research 関連事業」及び「中国関連事業」を独立セグメントとして認識し、IT関連事業を国内関連業務と中国関連業務に区分した上で、報告セグメントを「CRO関連事業」、「SMO関連事業」、「CSO関連事業」、「IT関連事業」の4区分から、「国内CRO関連事業」、「国内SMO関連事業」、「国内CSO関連事業」、「Global Research関連事業」、「中国関連事業」の5区分に変更しました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業		
モニタリング業務	7,930,365	102.3
データマネジメント業務	6,086,426	95.6
CROその他業務	2,039,318	90.0
国内CRO関連事業計	16,056,110	98.0
国内SMO関連事業	4,213,683	96.9
国内CSO関連事業	4,182,130	93.8
Global Research 関連事業	1,006,793	120.9
中国関連事業	1,540,344	3,416.1
合計	26,999,061	103.6

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。  
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

## (2) 受注実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業				
モニタリング業務	7,423,025	97.7	14,460,423	100.8
データマネジメント業務	5,216,060	93.0	12,487,744	95.7
CROその他業務	2,885,249	132.7	2,037,714	197.7
国内CRO関連事業計	15,524,335	100.9	28,985,882	102.0
国内SMO関連事業	3,683,866	63.8	7,094,743	89.7
国内CSO関連事業	4,600,441	109.2	4,227,771	106.1
Global Research 関連事業	1,497,790	211.8	2,808,743	99.2
中国関連事業	1,536,920	3,687.7	165,178	127.9
合計	26,843,354	102.8	43,282,319	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しています。  
2. 上記金額には消費税等は含まれていません。

## (3) 販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日) (千円)	前年同期比(%)
国内CRO関連事業		
モニタリング業務	7,930,365	102.3
データマネジメント業務	5,740,310	94.9
CROその他業務	2,044,168	91.3
国内CRO関連事業計	15,714,843	98.0
国内SMO関連事業	4,213,364	96.8
国内CSO関連事業	4,172,100	93.5
Global Research 関連事業	1,085,753	147.2
中国関連事業	1,537,041	3,796.5
合計	26,723,103	104.3

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれていません。